



# 令和7年度県制度融資等説明会 静岡ウェルネスプロジェクト 概要資料



静岡県健康福祉部健康局 健康政策課  
静岡県経済産業部産業革新局 新産業集積課

# 静岡ウェルネスプロジェクトの概要

## 静岡県の ポテンシャル

### 健康寿命日本一

男女とも全国1位  
男性:73.75歳(R4)  
女性:76.68歳(R4)



### 豊富な食材

439品目の  
農林畜水産物



### 多彩な観光資源

温泉利用宿泊施設数  
全国1位  
2,263施設(R5)



### 知の拠点の集積

静岡大学・県立大学  
静岡SPH、農研機構等



### 多彩な企業集積

食料品等付加価値額  
全国1位  
8,831億円(R5)



## プロジェクト の取組

計画期間 令和7年度～令和10年度(4年間)

支援領域 食品・ウェルネス関連産業、健康づくり

成果指標 静岡県の健康寿命 <目標> 平均寿命を上回る健康寿命の伸び  
プロジェクト関連製品・サービスの総売上金額 <目標> 30億円(R7～R10累計)

目指す姿 県民幸福度日本一(食品・ウェルネス産業の振興、県民の健康寿命の延伸)

## 施策展開

### 食品・ウェルネス産業の振興(経済産業部)

### 県民の健康寿命の延伸(健康福祉部)

#### 柱Ⅰ:研究開発

アカデミア、研究機関等の連携によるシーズ探索・活用

- ・フードテックシーズ探索・可能性調査の推進
- ・次世代産業関連プロジェクト間連携の推進
- ・健康・医療データ等の活用・検証の推進



#### 柱Ⅱ:事業化・異業種連携

スタートアップ等との連携による製品・サービスの開発

- ・スタートアップと地域企業の共創の仕組づくり
- ・未来型食品の開発支援
- ・地域資源を活用した静岡県ならではのウェルネスサービス等の創出



#### 柱Ⅲ:販路開拓・拡大

アップサイクル製品等の出口戦略強化

- ・出口を持つ企業を核としたビジネスモデルの構築
- ・マーケットインの視点を踏まえたマーケティングの推進



#### 柱Ⅳ:人材育成

食品・ウェルネス産業の地域経済を牽引する中核人材の育成

- ・フードテック、食の社会課題解決等に資する専門人材の育成
- ・パーソナライズ、エビデンス等に寄与する専門人材の育成



#### 柱Ⅴ:健康づくり

社会健康医学研究の推進や社会実装

- ・KDB(国保データベース)データを活用した健康長寿研究の推進
- ・研究成果の社会実装を踏まえた実証事業の実施

# 幸福度日本一の静岡県の実現

目指す姿



大目標

食品・ウェルネス産業の振興

県民の健康寿命の延伸

事業目標

新たな製品・サービスの創出

生活習慣病予防・重症化予防

異業種交流や情報共有等で食品・ウェルネス施策を推進

静岡ウェルネスフォーラム(2,002社・団体)(令和7年12月31日現在)

食品・ウェルネス関連企業・スタートアップ、自治体、研究機関、大学、医療機関、健康経営推進企業等で構成

ウェルネス向上を目指す産学官金連携プラットフォームを立上げ

経済産業部

産学官金連携のもと、スタートアップの技術等を活用し、静岡発のウェルネス産業を創出

○ 未来型食品の開発 ○ 県民向けウェルネスサービスの創出 ほか

健康福祉部

県民の健康状態と生活習慣の改善  
個人の健康づくりを支える環境づくり

○ 健康施策の推進 ○ 研究成果の健康施策反映 ほか

連携

プロジェクト  
の推進体制

<中核支援機関> (公財)静岡県産業振興財団 ウェルネス・フーズ産業支援センター

○ 県内市町との連携 ○ 県試験研究機関や静岡県立大学、静岡社会健康医学大学院大学等との連携

静岡県の  
ポテンシャル

○ 健康寿命日本一 ○ 多彩な県産農林畜水産物 ○ 日本有数の温泉源泉数  
○ 豊富な水と温暖な気候 ○ 缶詰等の優れた加工技術 ○ 日本最多を誇る宿泊施設数  
○ 多彩な企業群の集積 ○ 豊富な海洋資源 ○ 多種多様なプロスポーツチーム

次期総合計画  
の領域

I 未来を創る力: ①産業 ②環境・エネルギー ③観光・交流・インフラ III 県民の安心: ①防災・安全  
II 豊かな暮らし: ①子ども・教育 ②健康福祉 ③暮らし・文化

# 柱Ⅰ：研究開発

## 未利用食材活用トライアル拠点

- ・県工業技術研究所に未利用食材を活用した食のアップサイクルを推進するトライアル拠点を整備
- ・地域企業に対し、①技術相談、②加工・試作品開発、③品質・特性評価、④事業化等を支援



トライアル拠点の整備

- ・9/29(月)に拠点開所セレモニー、キックオフセミナーを開催し、アップサイクルの先進事例発表のほか、試食会、拠点プラントツアーを実施(参加者:81名)



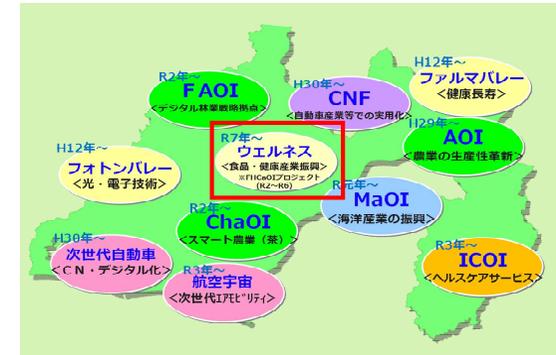
キックオフセミナー

トライアル拠点の詳細はこちら→



## 次世代産業関連プロジェクト間連携

- ・各プロジェクトのコーディネータ向けにプロジェクト間連携会議を開催し、プロジェクト間の情報共有、コーディネータ間の連携強化を促進
- ・12/22(月)にSHIZUOKA STARTUP DAY(東京都)を開催し、首都圏スタートアップ等の企業に向けて、11の次世代産業関連プロジェクトの特徴や強み等をPR(参加者:520名)



次世代産業関連プロジェクト(11PJ)



次世代産業関連プロジェクト連携会議



SHIZUOKA STARTUP DAY

## フードテックシーズ活用可能性調査

- ・食の社会課題解決に資する製品の研究開発を支援するため、大学等が持つフードテックシーズを活用した事業化に向けた可能性調査の取組を支援
- ・今年度は、2件採択
  - ✓ バイオ液肥を活用した農産物・加工食品の開発
  - ✓ GABA茶の網羅的機能解析による有効機能探索

# 柱Ⅱ：事業化・異業種連携

## 静岡ウェルネスフォーラム

・食品・ウェルネス産業の振興、健康寿命の延伸を推進する  
**産学官金連携プラットフォームを立ち上げ**  
(会員数:2,002社・団体)

・6/13(金)にキックオフセミナーを開催し、**プロジェクト顧問の池野文昭氏による基調講演**を始め、**関係者の交流機会を創出**  
(参加者:146名)



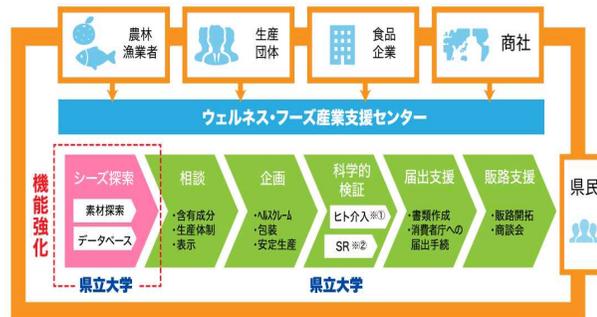
キックオフセミナー

## 機能性表示食品の開発・届出支援

・県立大学等と連携し、機能性表示食品の開発に向けて、**相談から科学的根拠の取得、消費者庁への届出までを一貫支援**

<県内企業届出件数>  
**337件(全国4位)**

<PF支援件数>  
60社・116件



機能性表示食品開発プラットフォーム

## 静岡ウェルネス・フーズEXPO 2025

・9/11(木)に静岡市内で**食品・ウェルネス関連の県内外のスタートアップ等**を招聘した**展示会、ピッチ等**を開催し、**県内企業とのマッチング**を推進(参加者:490名)



展示会・商談会(41社・団体)



スタートアップピッチ(10社)

EXPOの開催概要、出展企業等の詳細はこちら→



## 新たなウェルネスサービス等の創出

・**健康寿命の延伸に資する新たなウェルネスビジネスの創出**に向けて、**事業化の取組(可能性調査・実証)**を支援

・今年度は、**可能性調査2件、実証3件採択**  
(可能性調査)

✓スポーツ観戦、運動会等の  
**体験型健康経営サービス**  
の検証 ほか

(実証)

✓ポリファーマシー防止アプリ  
の開発 ほか

デジタルヘルス    ヘルスツーリズム・ワーケーション    介護予防・フレイル対策    健康経営支援

デジタル技術を活用した栄養管理や運動など健康に資するウェアラブル機器やアプリの事業化など    テレワークや健康的な食事、アクティビティ等を組み合わせた利用者の健康意識や行動変容に資するプログラムの事業化など    介護予防やフレイル対策に資する栄養バランスの取れた食事提供サービスや運動プログラムの事業化など    社員食堂で個々の健康状態に応じたメニューを提供し社員の生産性向上に資するサービスの事業化など



健康寿命の延伸に資するウェルネスサービス・製品の創出

# 柱Ⅲ：販路開拓・拡大

## 食のアップサイクル出口戦略強化

### ○ ビジネスモデルの構築

- ・マーケットインの視点での商品開発と販売先確保による出口戦略の強化を目的に、**未利用食材を活用した食のアップサイクル商品の開発・製造・販売の一貫したモデルを構築**(卸売業者2社に委託)
- ・うなぎの頭から抽出した出汁を活用した生麺、未利用じゃばらを活用したジェラートなどを企画

### ○ 消費者行動の改善

- ・消費者のアップサイクル商品に対する理解を深め、**食品ロス削減につながる消費行動の改善**に向け、**リテラシー向上セミナーやアップサイクル食品の試食会等を開催**(参加者:122名)



アップサイクル製品の開発・販売モデルの構築



リテラシー向上セミナー、試食会

## 自治体によるブランディング

### ○ しずおか商品開発プロジェクト(静岡市)

- ・**消費者の視点で既存商品のリニューアル**をテーマとした商品を開発(6事業者を採択)



黒はんぺん  
(さすぼし蒲鉾株式会社)

### ○ 藤枝セレクション2025(藤枝市)



- ・地場産品の中から**藤枝を代表する商品を認定**し、藤枝の名を全国に発信する取組(3商品を認定)



藤幾千代(紅家)

## ニーズに対応した展示会・商談会

- ・**県内の食品製造業者等の販路開拓**を目指し、**県外の展示会への出展支援、バイヤーとの個別商談会**を開催



FOOD STYLE Kyushu



個別商談会 in 静岡・焼津  
(商談件数159件)

## 未来型食品創出教育プログラム

- これまでの食品加工技術、食品の安全・安心等に併せて、フードテック等の先端技術の活用や、食のアップサイクルなどの要素を新たに追加し、未来型食品の開発に資する**食品産業の中核人材を育成**
- 座学や実習のほか、**新商品の企画・開発を意識したグループワーク、成果発表会**を導入  
(参加者:一括受講20名、個別受講30名の延べ50名)



座学



実習



グループワーク



成果発表会

## ウェルネスイノベーション教育プログラム

- 静岡発のウェルネスビジネスの創出に資する**ウェルネス産業の中核人材を育成**
- 「**温泉等の地域資源を活用したウェルネスツーリズム**」をテーマに、異業種交流、アイデア出し(企業×学生×住民×自治体等)等を行う**事業化ワークショップを開催**
- 新規事業の立上げ・起業を支援する**事業計画作成支援講座を開催**
- 「**事業化ワークショップ**」の参加者は計55名(2回)
- 「**事業計画作成支援講座**」は1月～3月にかけて計4講座開催予定



事業化ワークショップ



移動型サウナバス「サバス」との連携

# 柱V:健康づくり

## 産学官連携で進める健康づくり

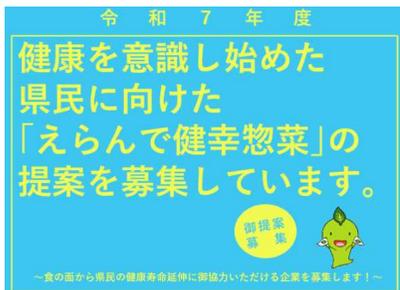
- ・本県の健康課題である**脳卒中の発症予防**を目指し、食品業者や、小売業者と連携し、**野菜摂取量の増加**等の望ましい食生活につながる啓発活動の実施や、望ましい食事が選択できる環境の整備を推進  
例) 野菜マシマシ、やさかなプロジェクト、健幸惣菜 等



キャンペーン特典として収穫・料理体験



やさかなメニュー選考会



健幸惣菜の提案募集



野菜マシマシ餃子レシピコンテスト

- ・男女ともに**野菜摂取量の全国順位が上昇**(H28→R6)  
男性 36位↗17位 女性41位↗36位

## 健康経営の推進

- ・事業者や医療保険者と連携し、職場における健康経営(=従業員の健康づくり)を、アドバイザーの派遣やプログラムの提供により支援
- ・健康経営に積極的に取り組む14の企業・団体を表彰(累計113件)



健康づくり活動に関する知事褒賞授賞式

## ミドル女性の健康づくり

- ・静岡社会健康医学大学院大学や、民間企業からメンバーを選出したタスクフォースを設置
- ・ミドル女性(40~50歳代)の健康づくりに関する効果的な普及啓発方法について検討を開始(R7:2回)



# プロジェクト成果品

## 未来型食品、ウェルネスサービス・製品

### 【アップサイクル＋機能性】

#### ○ 腸FIBER PROTEIN (株White from green)

- ・規格外バナナから抽出された機能性素材を活用した腸活プロテイン
- ・(公財)静岡県産業財団理事長表彰受賞



### 【機能性表示食品開発PF】

#### ○ ホホホタケ (株大井川電機製作所)

- ・エルゴチオネインを含有し、記憶力、注意力を維持する生理作用に期待



### 【健康増進のためのウェルネスサービス】

#### ○ クライオフット (インステイト株)

- ・電気ので-120℃の空間を作り、血流改善・代謝向上を促進されるプログラム



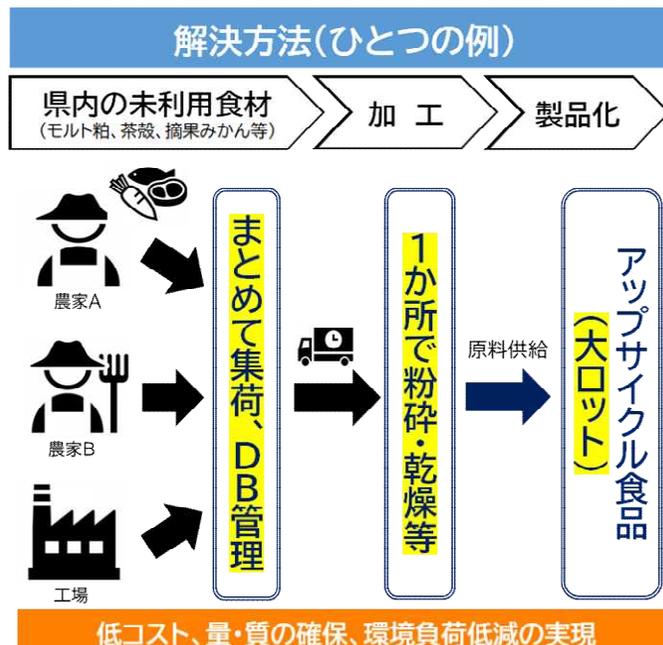
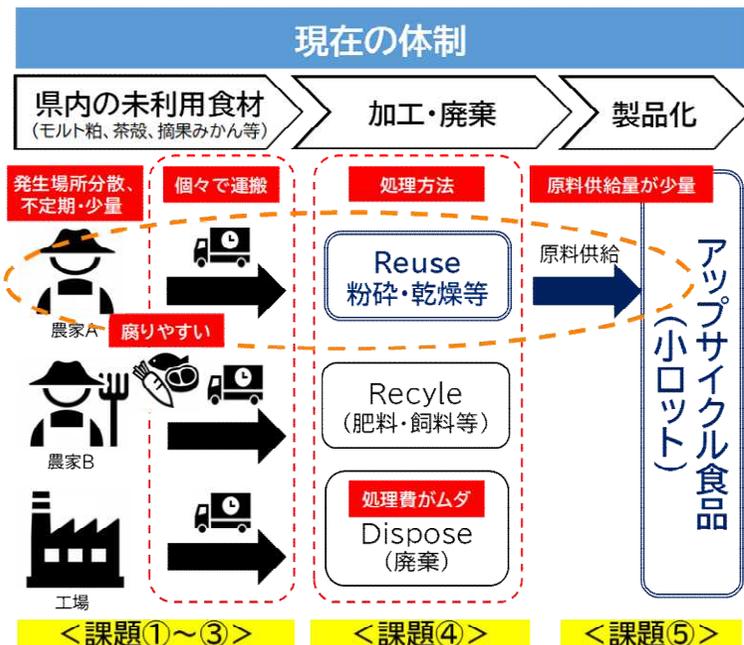
# 【新規】食のアップサイクル推進サプライチェーンの構築

## 概要

食のアップサイクルの推進に向け、**県内で発生する未利用食材のローカルサプライチェーンの課題解決**に資するビジネスモデルを構築するための実証事業

## テーマ

**効率的な収集運搬、衛生面に配慮した保管管理、効果的な中間加工** ほか



## 事業の流れ

- ① 未利用食材に関する地域課題の抽出
- ② 課題解決に資するビジネスプラン・ソリューションの検討
- ③ 県内企業等とのコンソーシアム組成による実証
- ④ 実証結果の効果検証
- ⑤ ビジネスモデルの横展開を促進するマニュアルの作成
- ⑥ 成果発表会における取組内容の情報発信

## 課題

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 課題①: 発生場所が分散  | → 収集・運搬コスト増   |
| 課題②: 不定期・少量発生 | → 原料供給が不安定    |
| 課題③: 腐りやすい    | → 長期保管不可      |
| 課題④: 使えるのに廃棄  | → 処理コスト・環境負荷増 |
| 課題⑤: 製品が小ロット  | → 製造コスト増      |

## 想定ソリューション

- |      |                        |
|------|------------------------|
| 収集運搬 | 解決①: JA、卸等連携し納品時に集荷    |
| 時期・量 | 解決②: 発生時期・量を管理するDBの構築  |
| 保管管理 | 解決③: 保護膜、冷凍技術等による鮮度維持  |
|      | 解決④: 共同利用可能な低コスト乾燥機の導入 |

# 【拡充】静岡ウェルネス・フーズEXPO、ウェルネスビジネス事業化促進助成

## 静岡ウェルネス・フーズEXPO

項目	令和7年度	令和8年度(予定)
会場	グランディエール ブケトーカイ (静岡市葵区紺屋町)	静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ (静岡市駿河区東静岡)
日程	令和7年9月11日(木)	令和8年7月23日(木)～25日(土) ※ 同会場で開催される「TECH BEAT Shizuoka」との合同開催を調整中
出展ブース	41社・団体	50社・団体程度(調整中)
他自治体との連携	—	フードテックの活用を積極的に推進する大阪府、未病対策に注力する神奈川県等との連携を検討

## ウェルネスビジネス事業化促進助成

項目	内容
対象事業	健康寿命の延伸に資する実証の前段階の市場調査、効果検証等の取組(可能性調査)、実証を含む研究開発・販路開拓の取組(実証)
助成率	可能性調査:2/3以内、実証:1/2以内
助成上限額	可能性調査:1,000千円 実証:5,000千円(大学等との連携事業)、2,000千円(その他事業)
加点枠(追加)	① 自然・温泉等の観光資源を活用した製品・サービス ② スポーツ・運動を核とした製品・サービス

# 【参考】未来型食品とウェルネス産業の定義

## 未来型食品

### 定義

高付加価値化と食品ロス、食に関する社会課題解決の両立を目指すため、**フードテック等を活用した食産業の未来を見据えた食品**

$$\text{フードテック} = \text{食} \times \begin{matrix} \text{テック(先端技術)} \\ \text{テクニック(伝統製法)} \end{matrix}$$

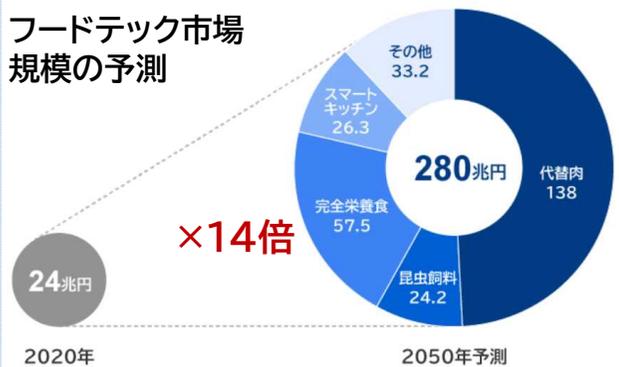
### 主たる物

食のアップサイクル、完全栄養食、防災食、代替肉、発酵食、ヴィーガン、パーソナライズドフーズ ほか

### 市場規模



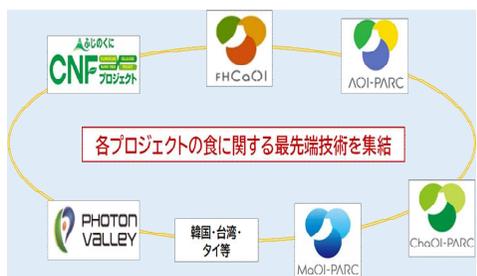
フードテック市場規模の予測



<出典>三菱総合研究所「R2フードテックの振興に係る調査委託事業」

### 連携

食と親和性の高い先端産業創出プロジェクトと連携して、フードテックを活用した食品開発を支援



## ウェルネス産業

### 定義

身体的・精神的・社会的健康を基盤に、**より健康で輝かしい人生を志向する状態を支援する前向きなビジネス領域** (公的医療保険・介護保険は対象外)

### 主たる物

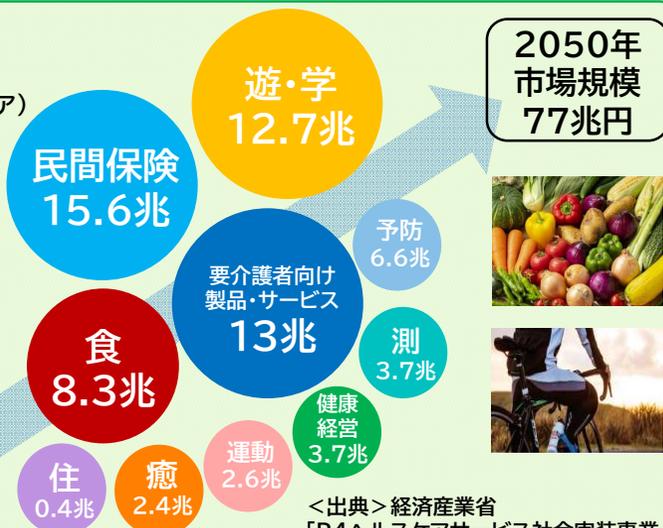
ウェルネスフード、ウェルネスツーリズム、予防医療、介護医療、フィットネス、ビューティー、リラクゼーション、睡眠、健康経営 ほか

### 市場規模

ウェルネス(ヘルスケア)市場規模の予測



2020年市場規模 24兆円



<出典> 経済産業省「R4ヘルスケアサービス社会実装事業」

### 連携

各部局との連携により事業化を推進

領域	主担当部局
ウェルネスフード、予防医療、介護医療、ビューティー、リラクゼーション、睡眠、健康経営、フィットネス、ウェルネスツーリズム 等	経済産業部 健康福祉部 スポーツ・文化観光部